

活用例①：病害虫雑草、自然災害、鳥獣害の被害を把握！

全国農業協同組合連合会
耕種総合対策部 スマート農業推進課



スクミリンゴガイ



いもち病



大雨・冠水



イノシシ



開花調査



カメムシ類



ナガエツルノ
ゲイトウ



凍霜害



クマ

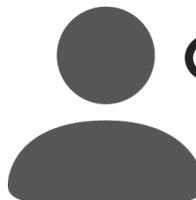


出穂調査

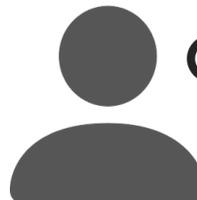
こんなこと、ありませんか？



今年は病害虫の発生が早いけど、
周りの圃場では
どうなんだろう…



これまで見たことない
害虫が発生している…
どの辺りまで発生して
いるんだろう…



去年の凍霜害の状況、
どうだったっけ…

Z-GISとレイミーの連携なら…

＼発生なし／ ＼多発生／

＼小発生／ ＼発生なし／

Z-GIS
JA全農 営農管理システム

〇〇〇ムシ
〇月〇日 発生多

全てタミーデータの開発中の画面です (出典：国土地理院ウェブサイト 地理院タイルを加工して作成)

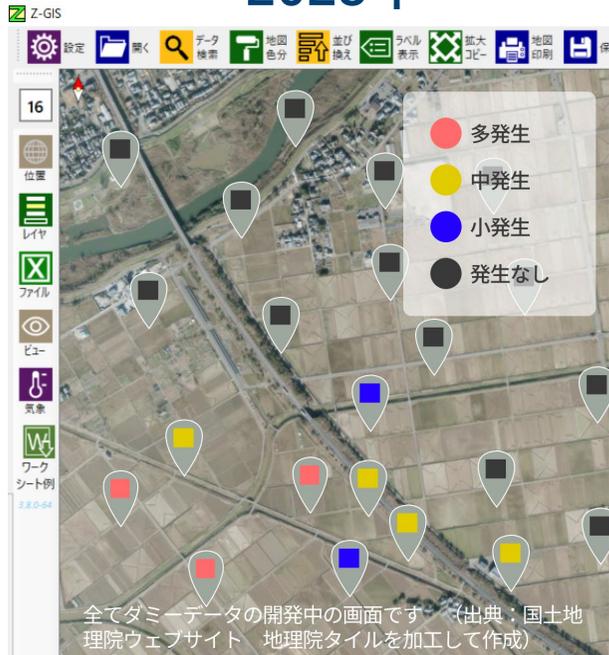
個々人のレイミーで記録した発生状況を**集約**し、Z-GISのマップ上で確認することができます。病虫害雑草の発生状況がひと目でわかるので、防除が必要な地域を把握することができ、防除のタイミングを適切に判断できます。

データの集約で組織力を高める!

データの蓄積で、更に活用！

(例) 害虫の発生調査：各年の8月第一週で比較

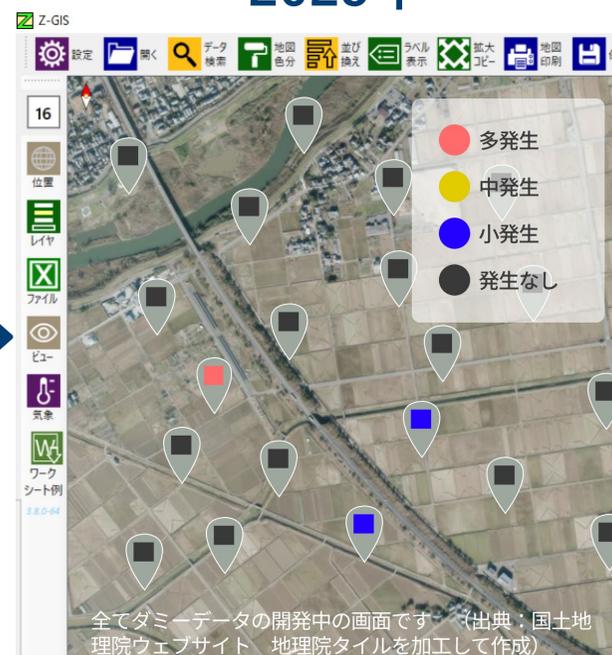
2023年



2024年



2025年



今年は発生が多い！注意！

今年は発生が少ない？遅い？

記録したデータはサーバー上に保存されて蓄積していきます。

先月や昨年との発生状況の比較が容易にできるので、傾向を見て防除を提案することができ、地域情報の引継ぎにも活用することができます。

【例①】各地で被害の大きい病害虫の発生を把握



オオタバコガ



いもち病



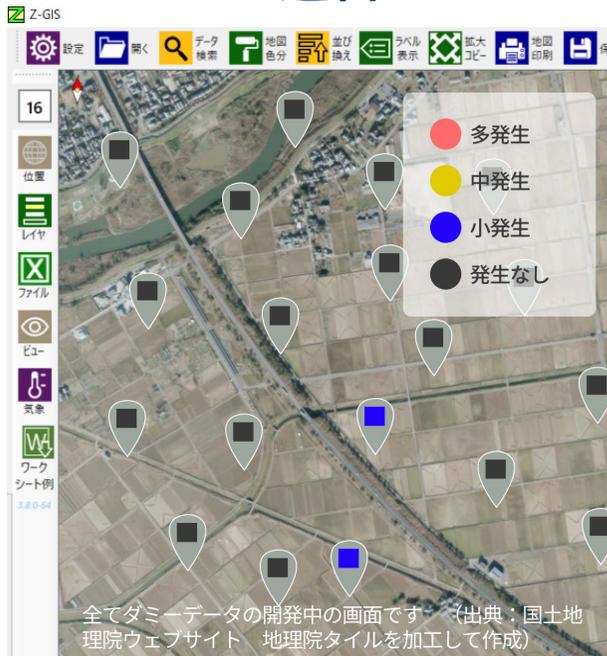
カメムシ類



菌核病

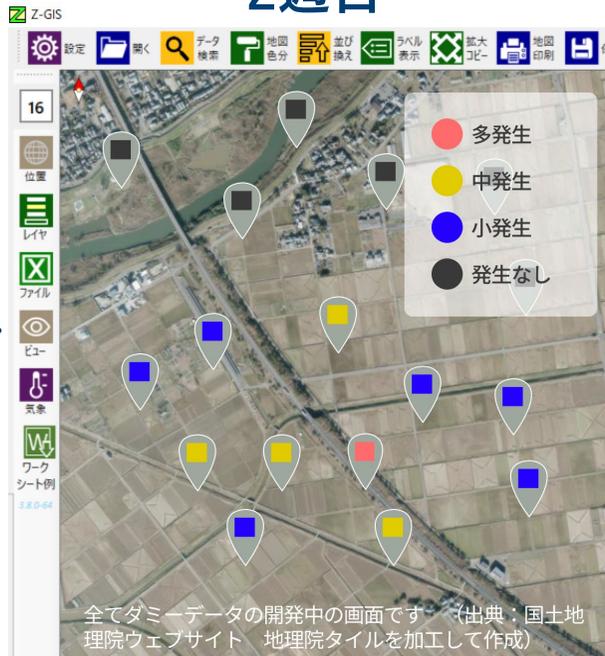
ある夏の病害虫被害調査

1週目



まだ発生は少なそう

2週目



発生が増えてきた

3週目



大発生！

前の週と発生状況を比較することで、発生状況を細かく把握することができます。

発生が増えてきた段階で適切に**防除を提案**できれば、病害虫による**被害を最小限**に抑えることができます。

【例②】厄介な侵入性の病害虫雑草の広がりを可視化



要注意
地域！

こんな病害虫に有効！

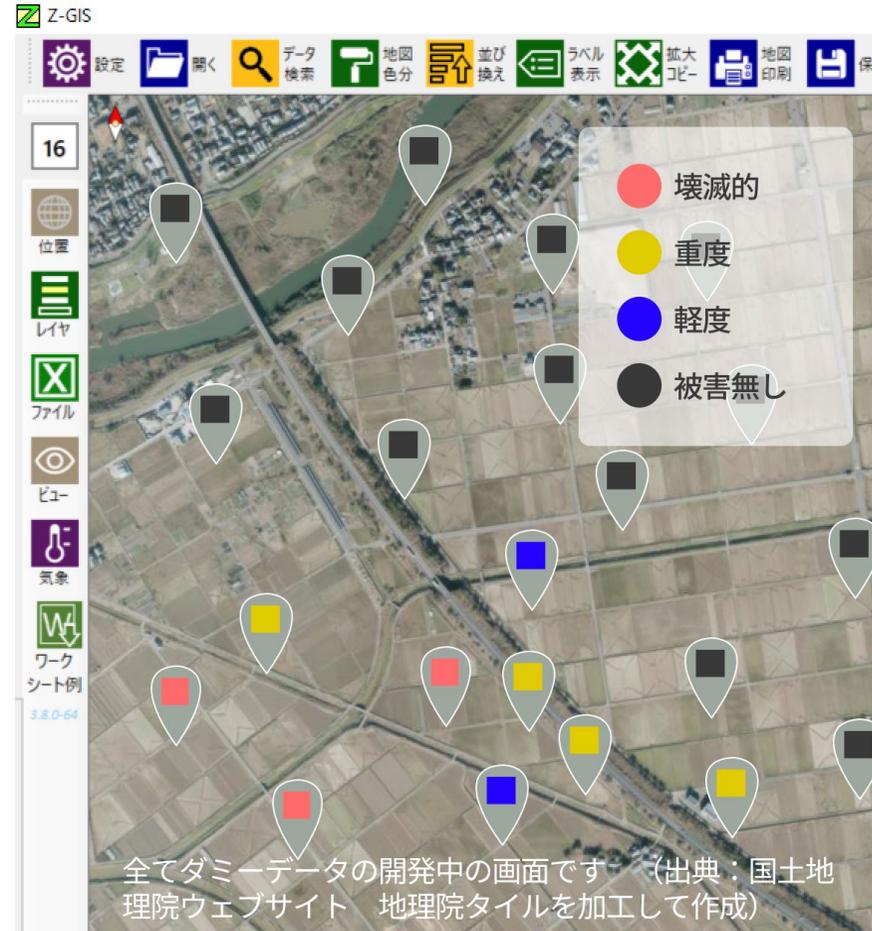


近年、増加傾向にある**侵入性の病害虫雑草の拡大把握**にも活用が期待できます。
マップ上で病害虫の広がりを確認することで、注意が必要な地域が一目でわかるようになります。

予測不能な各種障害の実態の把握にも使うことができます。

【例③】自然災害の被害状況を把握

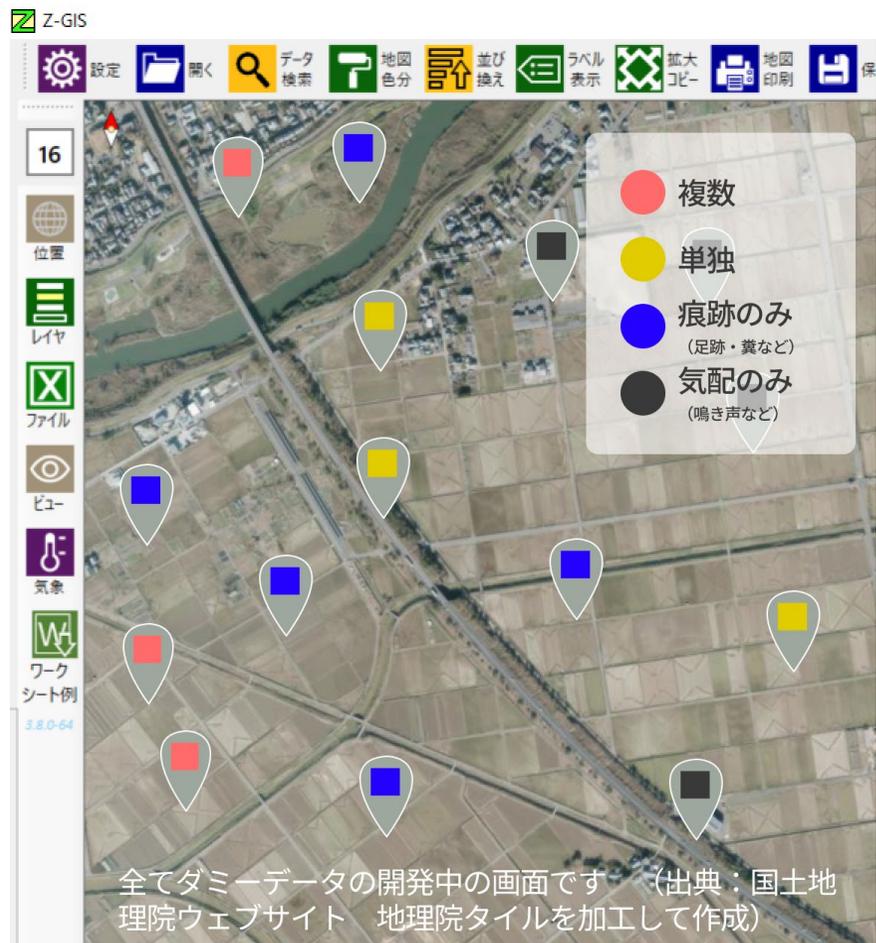
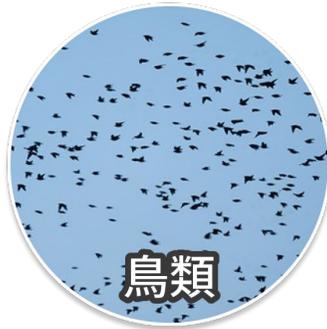
緊急の調査でも効率的に 被害状況を確認



霜や台風など**自然災害による被害状況を記録し、マップ上で地域全体の被害実態や影響範囲の把握**をすることができます。

【例④】鳥獣害の出現状況を把握

“痕跡”も含めてデータ化し
出現状況をチェック



出没情報や被害状況の記録を通じて、鳥獣害の発生傾向や重点対策エリアの把握にも活用できます。

病虫害雑草、自然災害、鳥獣害の被害、把握してみませんか？

今年はやや発生が
早そうだ

発生データの蓄積

被害の大きな病虫害雑草はデータとして蓄積し例年と比較できるようにすることで、防除指導に活用する

あの辺りまで
北上してきた

広がりの可視化

侵入してきた病虫害雑草の拡大を把握し、予防対応の検討に活用する

昨日の霜はかなり
ひどい被害だ

天災被害の見える化

被害状況を画像と位置情報で記録して簡単に可視化。資料作成の手間を減らして現場対応に時間を割く

活用シーンは他にもたくさん！



レイミーでの記録は非常に簡単で、誰にでも操作可能です。地域を絞っての病虫害雑草の広がりを調査したり、定点調査への活用で予察情報の補完にも利用できます。シンプルな仕組みなので、アイデア次第では上記以外にも様々な使い方ができます。